

破天荒

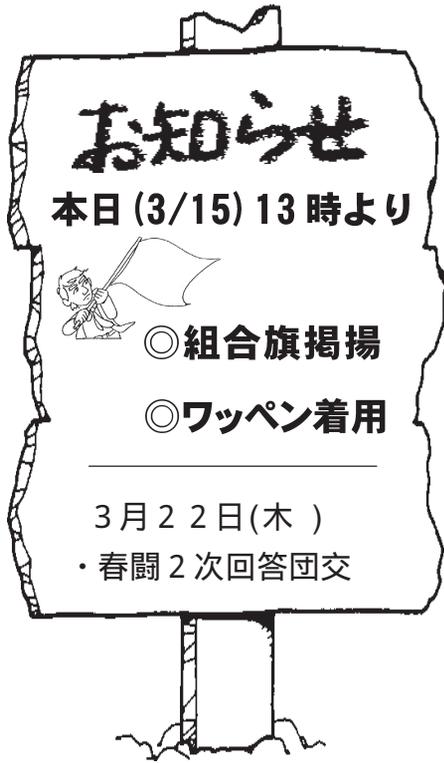
教宣部

5037号

2018年
3月15日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合

2018 春闘回答 ベースアップゼロ回答 定昇のみ!



先日は春闘の賃上げ要求に対する統一回答指定日でした。結果はやはりゼロ回答・定昇のみ。二〇〇一年に本人給が改訂されてからの向上もありません。社是の「従業員良し」も実行できないで何が経営者ですか。

会社の現状

電子は増収増益、システムは念願の黒字転換という状況下の回答でした。ゼロ回答の理由は先行きが不安とのこと。

電子ではコンピューターシステムの混乱が相次ぎ納期や発注に障害が出ています。この異常な事態を正常化してこそ先行きや目標が立てられるとのことでした。

システムでは念願の黒字化にはなつたものの、まだ一進一退状態で売り上げを伸ばし経費を削減するしかないそうです。

就業規則と協約

現在、竹中グループ会社で労働協約があるのはシステムと電子だけになっています。

労働基準法上、労働者と経営者の働く上での契約書として就業規則があります。

就業時間と休日休暇、賃金の決定・計算・支払の方法と締め支払日、昇給について。退職に関する事項(解雇の事由を含む。)を記載しなければならぬことになっています。また就業



最低賃金

回答はやはり九百円でしたので、現在の八八五円から十五円時給がアップされました。

甲種嘱託の最低賃金

最低賃金が月十三万八千九百円なら五九歳本人給の三四%になります。会社は再雇用の最低賃金はパート等の最低賃金を下回ることはないとしていますので就業規則の中で明記すべきです。

世間相場

電気や自動車では消費税増税以来、五年間のペア累計が一万円前後となつています。二〇〇一年以降、リーマンショックなどで賃下げもありましたが賃上げもありました。竹中の水準は低いと組合は主張しているのですが、経営者は十分な金額であると思つていてこの発言がありました。世間の中の竹中、世間の考え方や感じ方から離れて「自分のあるべき論」を貫いてばかりいるとやがて独りぼっちになってしまいますよ。

団交レポート

二〇〇二年より16年間ベースアップは「0」回答が続いている。16年前の物価と今の物価は同じでしょうが。会社は竹中の給料が世間と比べて低くないから「定昇のみ回答」ではあまりにも理屈から外れていませんか!。折しも電子では新システムの導入でどの部署も四苦八苦して業務をこなしている。ベースアップをして従業員の士気を高める優しい気持ちはありませんか。

条件はこれ以上上げることができないとしています。

全竹中労働組合では、組合加入の対象者を従業員代表選挙の対象者と同じ(契約・嘱託社員・管理職・一般社員)とし、竹中グループ全ての会社の従業員を対象としています。

オプトやシステムでは前近代的な手法(組合員には投票するなよ、お前がなれ)で従業員代表が選出され現在に至っています。電子では定年再雇用社員

の就業規則に意見書を書いてくれないかと会社より申し入れがありました。書いてくれないなら従業員代表を選出する(脅したつもり?)と言われましたが、法通り公正な選挙なら異議はありません。

竹中グループに働きにきて、日本国において合法的に自分の要望を経営者と交渉する術は労働組合しかないと思います。社会の仕組みとしてそうなっているわけです。